

2022.12.27

福岡県糸島市・可也山(かやさん)365Mの **アオキ、ハナミョウガ**

柱島

玄海島

灘山 (なだやま) 209m

2022/12/27 15:05







可也山



# 活動データ

🕒 タイム    📍 距離    📈 上り    📉 下り

**02:47**    **4.3 km**    **386 m**    **385 m**

🌀 平均ペース 📄 ?

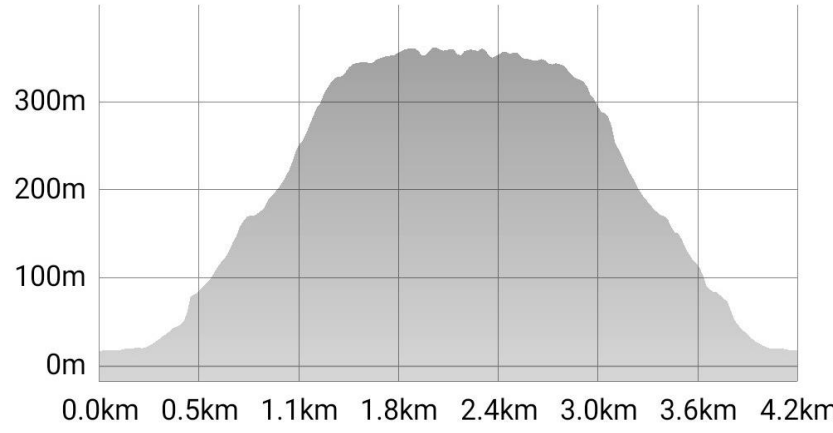
やや速い  
**110 ~ 130 %**



距離

行動時間

日時



13:11



13:11  
13:13

可也山登山口

1時間30分

14:43  
14:49

可也山

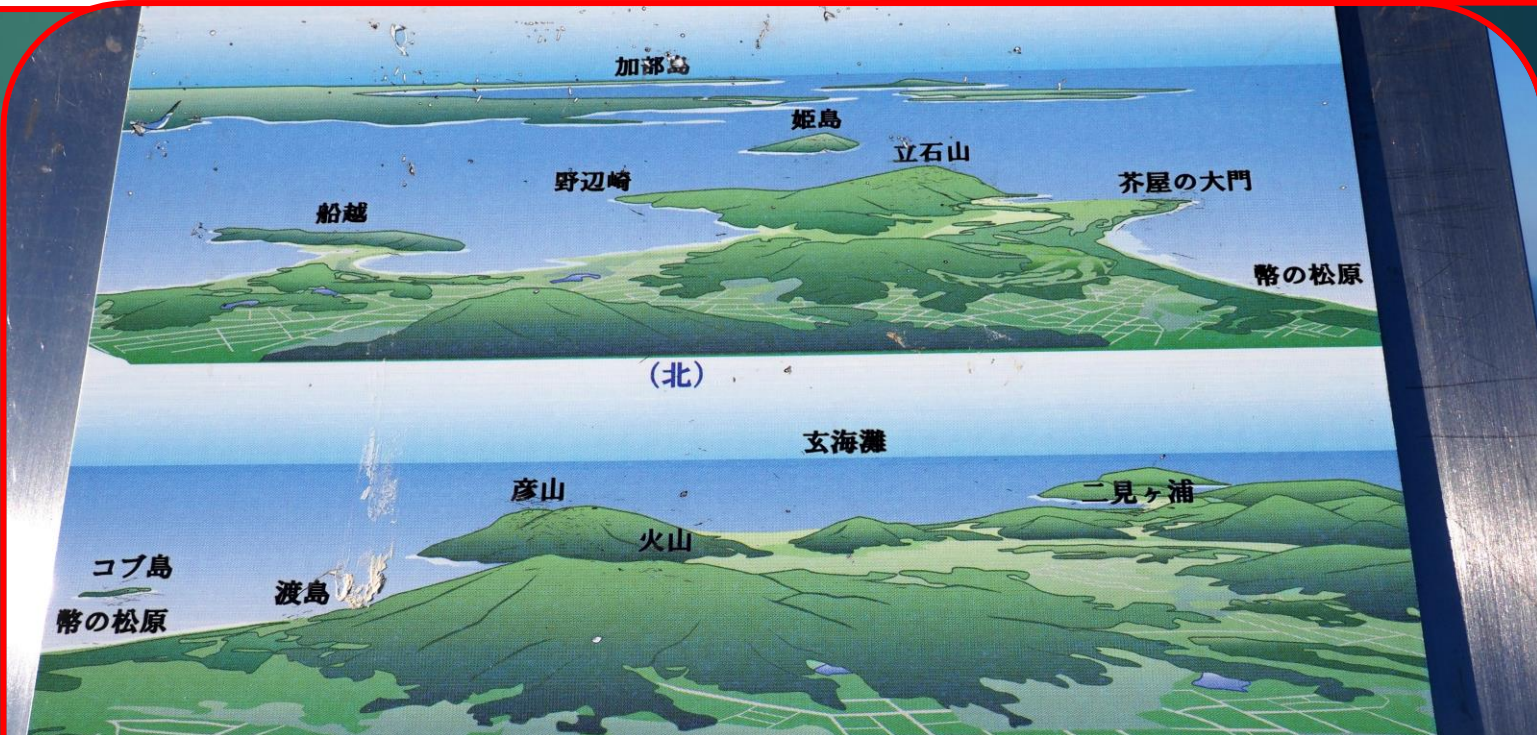
14:49  
15:08

展望ポイント

49分  
15:57  
15:58

可也山登山口

15:58





可也山(かやさん)365m



2022/12/27 13:14  
師吉(もろよし)登山口  
駐車場









アオキ (青木) アオキ科



アオキ (青木)  
アオキ科



2022/12/27  
13:56



# 可也山と石切り場

可也山は標高三百六十五メートル、東西約四キロメートル、南北約二キロメートルの独立峰で、東方から望む山容は富士山に似ており、糸島富士或いは小富士などとも呼ばれている。

万葉集巻十五に『草枕 旅を苦しみ 恋ひおれば可也の山辺に さ雄鹿鳴くも』と詠まれているように古くから知られた山で、その名は朝鮮半島の伽耶<sup>かや</sup>地方に由来するとの説もある。

山塊は大部分が花崗閃緑岩<sup>かこうせんりよくがん</sup>からなるが、頂上付近には火山活動で噴出した玄武岩が見られる。特に山腹に露出する良質の花崗岩は、江戸時代初期を主体として近代に至るまで、城や寺社などの石造物の材料として利用された。

有名なところでは、栃木県日光東照宮、江戸城紅葉山、警固神社、桜井神社などの石鳥居の造立にこの山の花崗岩が使われている。その中でも、元和四年（一六一八年）に黒田長政が普請した、江戸時代のものとしては我が国最大の日光東照宮大鳥居の造立の際には、難儀の末、六十トンを超える巨石をこの山から切り出し、海を渡り川を上らせ<sup>のぼ</sup>、遙々日光まで運搬したという顛末<sup>てんまつ</sup>が『黒田家譜』などの文献に記されている。

現在のところ、明確にその時期まで遡<sup>そきゅう</sup>及<sup>きつ</sup>できる石切り場跡は確定されていないが、山腹の巨石に現在でも数多く残る矢穴<sup>くさびあな</sup>（楔痕）が往時の様子を偲<sup>しの</sup>ばせる。





2022/12/27  
14:04



2022/12/27  
14:05



2022/12/27  
14:08



能古島(のこのしま)

毘沙門山(びしゃもんやま) 177m

浜崎山(はまさきやま) 97m

今津干潟

2022/12/27 14:21  
第一展望所



志賀島(しかのしま)

2022/12/27 14:21  
第一展望所





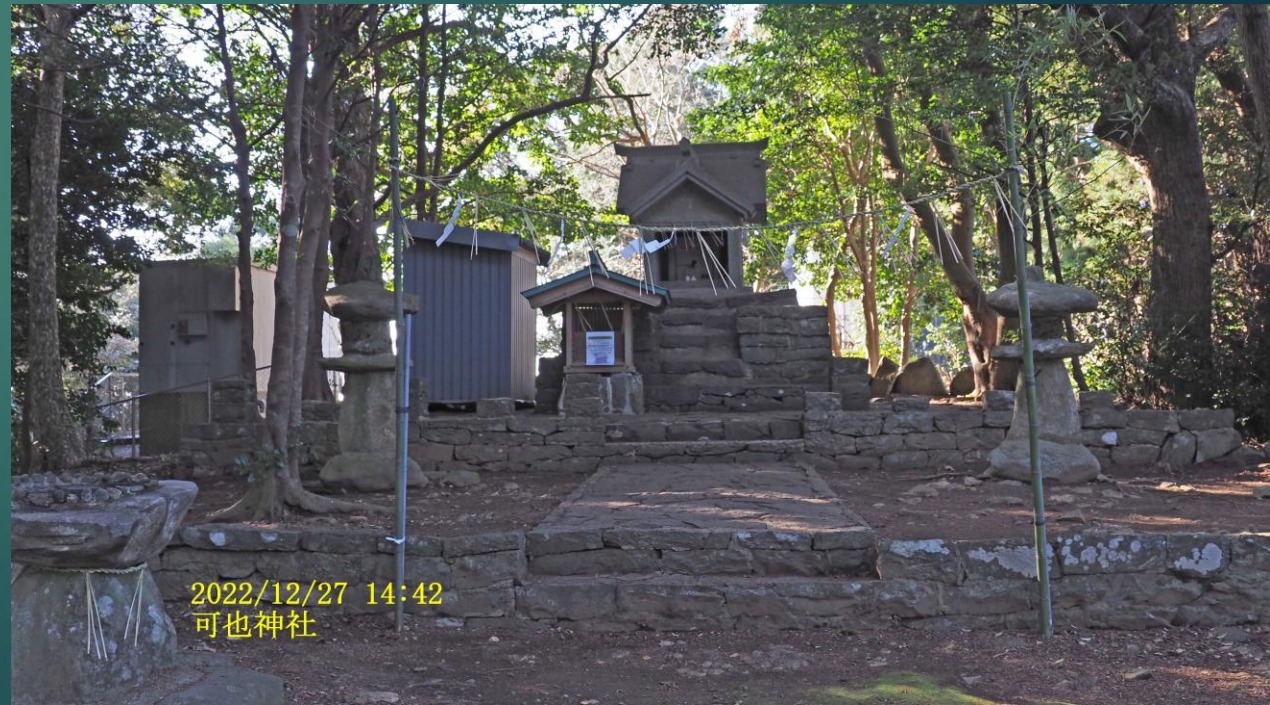
2022/12/27 14:31  
可也山ブランコ



2022/12/27 14:32  
可也山ブランコ



2022/12/27 14:41  
可也神社



2022/12/27 14:42  
可也神社









2022/12/27 14:55



高島170m 大島

船越

2022/12/27 15:01



姫島

立石山(たていしやま)210m

2022. 12/27 15:01



立石山(たていしやま)210m

芥屋海水浴場

芥屋の大門(けやのおおと)

2022. 12/27 15:01












A dark blue minivan is parked in the foreground on the right side of the frame. In the background, a maroon hatchback is parked. The setting is a parking lot in a residential area with houses and utility poles. The sky is clear and blue.

2022/12/27 16:02  
師吉(もろよし)登山口  
駐車場に戻る  
2時間47分の行動時間

END